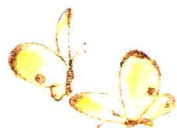


みちくさ一年生

あまんきみこ・作 かど た りつ こ 門田律子・絵



どうわがいっぱい③

みちく^{いち んん せい}さ一年生



1990年4月20日 第1刷発行

1999年5月10日 第15刷発行

作者 あまんきみこ

画家 門田律子

装丁 田名網敬一

発行者 野間佐和子

発行所 株式会社 講談社

東京都文京区音羽2-12-21(郵便番号112-8001)

電話 出版部 03(5395)3535

販売部 03(5395)3625

製作部 03(5395)3615



N.D.C.913 78p 22cm

印刷所 株式会社 精興社

製本所 黒柳製本株式会社

© Kimiko Aman/Rituko Kadota 1990

Printed in Japan

落丁本・乱丁本は、小社書籍製作部あてにお送りください。
送料小社負担にておとりかえます。なお、この本についてのお問い合わせは児童図書第一出版部あてにお願いいたします。

定価はカバーに表示してあります。

本書の無断複写(コピー)は、著作権法上での例外を除き、
禁じられています。図<日本複写権センター委託出版物>

ISBN4-06-197803-9 (児一)

みちくさ一年生

あまんきみこ・作 かど た りつ こ 門田律子・絵

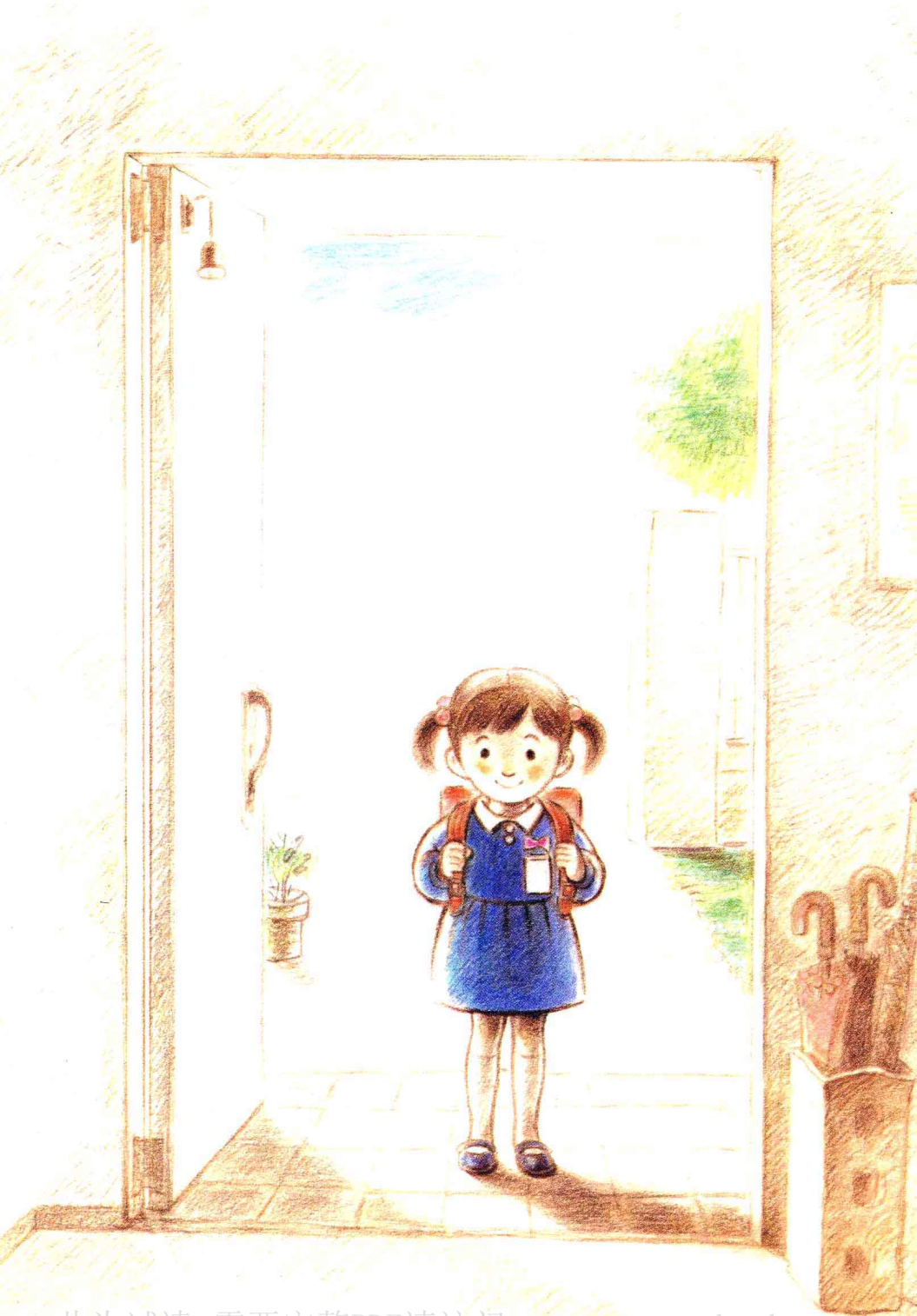


きょうも、なおこちゃんの
はずんだ　こえが、
げんかんで　します。

「たーえちゃん、いーきましょ。」

たえちゃんは、げんかに　とびだして
いきました。

さつきから、赤い^{あか}　ランドセルを　せおって、
なおこちゃんが　くるのを、まっ
いたのですもの。





「ふたりとも はやいわね。」

だいどころから、

たえちゃんの おかあさんが

でて きて、 わらいながら

いいました。

「これじゃあ、クラスで

いちばん はやく つくんじゃ ないの？」

ふたりとも 一年生いちねんせいになっただけ。

まだ、入学^{にゆうがく}しきの 日^ひから、十日^{とおか}しか すぎて

いないのです。

たえちゃんは、一年^{いちねん}二組^{にくみ}。むねに 青^{あお}い

リボンを つけて いました。

なおちゃんは、一年^{いちねん}三組^{さんくみ}。むねに

もいろいろの リボンを つけて いました。

たえちゃんが くつを はいて 立^たちあがると、

ふたりは ちょうど おんなじ せたけでした。





「ハンカチ、ちりがみは？」

たえちゃんのおかあさんが ききました。

「もつてまあす。」

さきに こたえたのは、なおこちゃんです。

青い^{あお} ワンピースの ふくらんだ ポケットを、
たたいて みせました。



「もってまあす。」

たえちゃんも、赤い^{あか}スカートのポケットを、

たたいて みせました。



「じゃあ ふたりとも、みちに 氣きを つけてね。」
たえちゃんの おかあさんが いいました。

「みちに 氣きを つけるよ。」

おかあさんに、ふたりは やくそくしました。
そして、げんきに でかけました。

「いって きまあす。」

「いって きまあす。」

お日ひさまの ひかりの あったかいこと。



きたぐにの、この 小さい 町にも、ようやく
はるが きたのです。

にれの 木のかどを まがつた とき、
ふたりの 目の まえに、白い ものが
ゆれながら とんで きました。

ちようちよ！

四つの 目が、ちようちよの うごく
とおりに うごきます。



あ。あ。あ。あ。

ちようちよは、二^にど 三^{さん}ど

ゆきつもどりつしてから、むこうの
草^{くさ}はらの
ほうへ、とんで いきました。

「とまった。」

と、たえちゃんが いいました。

「いって みよう。」

と、なおこちゃんが いいました。





ふたりが 草^{くさ}はらに はいって いくと、

ちようちよは ひらり。まいあがつて、

その まま、たかく たかく……、



見^みえなく なって しまいました。



口^{くち}を あけて 見^みあげて いた

たえちゃんは、なおこちゃんの

うれしそうな こえを ききました。

「ほら、すみれだよ。あんなに いっぱい。」